

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	久留米市			代表者名	市長 原口新五
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務部行財政改革推進課	連絡先電話番号	0942-30-9124
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	塚本 智	連絡先E-mail	
住所	830-8520 福岡県久留米市城南町15-3				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名（予定）	DX化のためのBPRセミナー		
概要	職員のデジタル化に対する苦手意識を払しょくするとともに、データやデジタル技術を活用して業務を変革しようという意識醸成のための支援をお願いしたい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	300	令和7年2月4日	支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年11月15日	支援・助言(実地)	13時30分	16時30分	
			活動時間（分）	180	
2-2. 派遣場所	会場名	久留米市庁舎 301会議室		最寄駅	JR久留米
	所在地	久留米市城南町15-3		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	関 治之
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	BPRの必要性や現場職員が考えるべきことを解説していただき、ワークにおいても、参加者が抱える課題に対し、丁寧にアドバイスしていただいた。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	12人
	属性 自治体職員 住民 企業・団体		その他(学生など)
	人数	12	
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果			
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・これまでのやり方が正しい、変えるのは無理、時間がなく見直し出来ないといった意識から、業務改革が進まない。 ・単にデジタルツールを導入しただけで2重管理が発生したりと、余計に非効率になっていることがある。		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・BPRの考え方や手法を学び、各職場での業務プロセス見直しの遂行力を身につける ・他自治体のBPR事例を学び、本市における業務プロセス見直しのイメージを持つ		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそもBPRとは何か、どのような視点が必要かを解説いただくとともに、ワークでは参加者の抱える課題に対し、様々な視点からアドバイスしていただいた。 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改革（BPR）の必要性や進め方に対する理解を深めることができた。 ・参加者の抱える課題を解決するためのアプローチに対するヒントを得ることが出来た。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者から出された「紙申請とオンライン申請の2重管理」の課題については、アドバイザーからの助言や、同一グループのメンバーの所属課での管理方法を参考に、解決策を見出すことができた。 	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> ・「書かない」「待たない」「来なくていい」窓口の実現を目指した窓口改革の議論を進める中でも、「改革は職員の負担が大きい」や「自ら変える」ではなく「変えてもらいたい」等の意見が根強くあることから、今回ご講演頂いた内容を職員に粘り強く広めていく必要がある。 	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数のため、アンケートではなく、感想を直接聞き取り。 ・参加した職員からは、「今回のような場が定期的にあるといい」「職場で早速報告した」「前向きにな気持ちになり、頑張ろうと思った」等の声が寄せられた。 	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、主に窓口における業務改革（BPR）を進めており、具体的な取組みの検討際には、今回お話しいただいた内容も併せて職員に根付かせる。 	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・DXを真に実現するために、デジタルツールの体験と合わせて、既存業務フローの見直し等BPRの必要性を職員が理解した上で、市民にとって長時間待たされる市役所・書かされる市役所から、「書かない」「待たない」市役所への変貌を図り、市民満足度を向上させる。 	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

